



浜田市議会議員
西川しんごの
市議会レポート

市民の風

Vol. 4

発行日：2018年10月22日
発行者：西川 真午
連絡先：浜田市松原町 269-7
TEL (090) 1361-8000

<9月定例会では、平成29年度の決算を審査し認定しました。>

自治体の予算の会計年度は4月1日に始まり3月31日に終わります。その後、5月31日の出納閉鎖日までの2ヶ月間を出納整理期間として、年度内に契約したが支払いが翌年度の4月になった場合などの整理を行います。出納閉鎖後に決算管理者が決算書類をまとめて市長に提出し、さらに市長から監査委員に提出されて審査を受けます。その後、決算書類は監査委員の意見を付けて議会に提出されますが、このときに「主要な施策の成果報告書」が併せて提出され、これらをもとに議会の予算決算委員会において審査し認定を行います。

監査委員の審査では主に法令や規則に従って適法、公正に予算が執行されたかを審査しますが、議会の認定では議会が議決した予算が適正に執行されたのか、事業計画は順調に進んでいるのか、予算審議の際の議会の意思は尊重されているのかなどを検証します。本議会の決算審査ではすべての予算が認定されましたが、それぞれの事業について議員から質疑や意見等が出され、今後の予算審議に反映させる課題などが提言されました。



個人一般質問

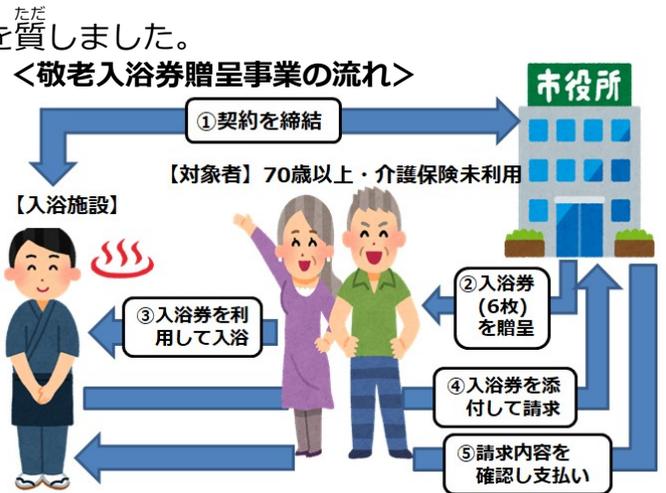
※個人一般質問とは、議員が住民の代表として市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信を問い質すものです。

今回の議会では、以下の項目について市の方針を質しました。

①敬老入浴券贈呈事業について

<質問の主旨> 本事業は介護保険サービスを使っていない70歳以上のご高齢者に、「特典」という意味合いで無料の入浴券を配布する事業で、本年度は940万円の予算が計上されているが、事業の達成目標値などは設定されていない。公的介護保険は高齢者の介護を社会全体で支え合う制度であり、「特典」という考えはそぐわないうえ、この事業で恩恵を受ける市民は限定的である。もっと直接的に介護予防に資する施策を立案し、目標値を設定し高齢者の健康維持に予算を投じるべきと考えるが、市の見解を問う。

<答弁の要約> 本事業は介護保険料を納める健康な市民の声に応え、また市内の温泉施設の利用者増の対策とするために今年度から実施した。これまでに市民のみなさんから色々な意見をいただいている。来年度以降については、今年度の事業の実績を注視し内容の精査を行い検討する。



②高齢者サロンについて

<質問の主旨> 高齢者サロンは地域の高齢者の交流の場であり、生きがいづくりや介護予防にも効果があり、普及拡大を図っていく必要がある。浜田市における高齢者サロン普及拡大の課題と今後の方針は。

<答弁の要約> 現在、市内162カ所で設置され約3,000人が登録されているが、空白地域も多く浜田市社協と共に普及拡大に取り組んでいる。課題としては世話役となる人材の不足や、男性の参加率が低いことなどが挙げられる。今後はサロンリーダー交流会による人材育成や、サロン活動に要する費用の一部を支援する制度の構築も検討する。

③防災行政無線について

<質問の主旨> 浜田市の防災行政無線の受信設備は、主に戸別受信機と屋外スピーカーの2種類があり、浜田自治区以外では戸別受信機の整備率が80%以上で、住民への防災情報や行政情報の確実な配信に役立っている。昨年度、総務省より戸別受信機の量産化・低廉化の研究結果が報告されたが、浜田自治区においても、市民の生命を守るために戸別受信機の整備が重要であるが、市の見解を問う。

<答弁の要約> 戸別受信機の優位性は理解しており、これまでも検討したが多額の費用がかかるため実現には至っていない。今後は総務省の報告も参考にし、戸別受信機を含めた複数の情報手段による災害情報の発信を検討する。



市議会トピックス

今回の議会の議案や委員会での報告事項の中で、みなさんの生活に特にかかわる内容についてお知らせします。

トピックス①【タブレット議会システムが始まりました】

議会運営の効率化、ペーパーレス化を実現するために、ITを活用したタブレット議会システムの運用が始まりました。議員全員にタブレット端末が配布され、議案や予算書などの資料がクラウドを利用した会議システムで閲覧できるので、紙の使用量が大幅に削減されます。検索機能などにより膨大な資料から必要な情報を探すことも可能で、議会活動の効率化も図られます。ただし、複数の資料を並べて比較するときなどは、紙の資料の方が使いやすい面もあるので、システムの機能や操作を熟知してより便利に使いこなすことが必要です。本議会と次回の12月定例会は試行期間で、本格的な運用は3月定例会からとなります。



トピックス②【ふるさと体験村が事業休止になりました】

相次ぐ不祥事や経営不振のため指定管理を取り消し、4月から市の直営で運営を続けてきた弥栄町のふるさと体験村が、9月末をもって全事業を一時休止することになりました。理由は経営改善が進まず赤字が増大する見込みであること、議会や地元住民からも一旦休止すべきとの声があることなどです。施設再建に向けて庁内や地域住民の検討組織で、運営方法や収支計画、地域住民の参画組織などについて検討が進められます。再開は平成31年4月の予定ですが、検討結果によっては長引く可能性もあるということです。本施設については7月に有識者等からなる経営検証委員会の報告書も出ています。市有財産を有効活用し地域を活性化するために、スピード感を持った対応を望みます。

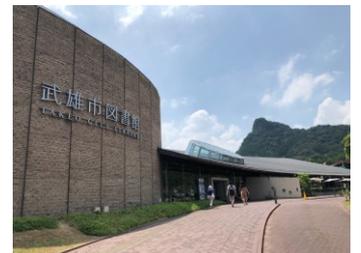
行政視察報告

所属する委員会で先進地へ行政視察に行った内容をご報告します。得られた情報や知識を政策提案に生かしてまいります。

委員会名	総務文教委員会
日程	2018年8月1日～3日
視察先 視察内容	①鹿児島県鹿屋市柳谷集落 ・行政に頼らない住民自治 ②福岡県うきは市 ・RESAS(地域経済分析システム) ③佐賀県武雄市 ・図書館の運営方法について



柳谷集落は芋焼酎の商品化で自主財源を確保し自立した集落運営を図る



武雄市図書館はTUTAYAを運営する民間企業が指定管理者として運営する

学校や高齢者サロンでボランティア落語会！

原井小学校放課後児童クラブ(7/24)・ひだまりふっくら(7/24)・松原小学校放課後児童クラブ(8/8)・松原町1町内高齢者サロン(8/23)・松原小学校1年生(9/6)・高佐町敬老会(9/9)・笠柄町1町内高齢者サロン(9/18)・下府町高齢者クラブ甘水会(9/30)

<12月2日の余芸大会にも出演します！>



松原小1年生読み聞かせ

後援会 LINE@

日々の議員活動をLINEで報告しています。ぜひご登録を！

